

# Dell

## U2518D/U2518DX/U2518DR

### Dell Display Manager

### ユーザーガイド

モデル番号: U2518D/U2518DX/U2518DR  
規制モデル: U2518Dt





注意：注意は、コンピューターのより良い使用を助けるための重要な情報を示します。

**Copyright © 2017 Dell Inc. またはその子会社。無断複写・転載を禁じます。** Dell、EMC、および、他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標です。

2017年 – 5月

版数：A00

# 内容


- 概要 .....4
- クイック設定のダイアログを使う .....5
- 基本的なディスプレイ機能の設定 .....6
- プリセットモードをアプリケーションに割り当てる .....7
- 省エネ機能を適用する .....8
- Easy Arrange**で**Windows**を整理する.....9
- 複数のビデオ入力を管理 ..... 11
- トラブルシューティング.....13

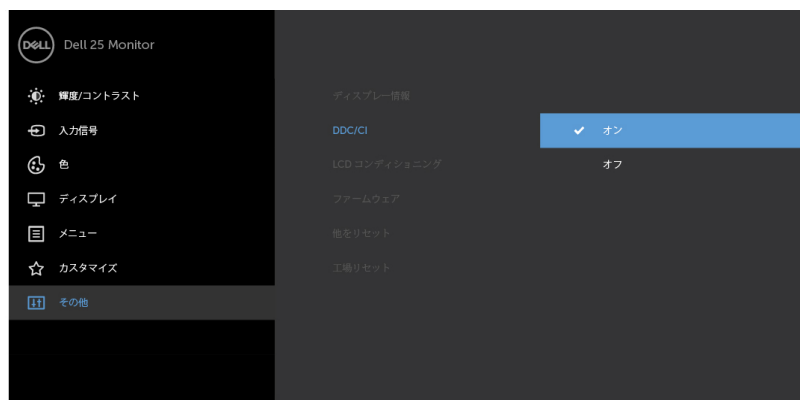


# 概要

Dell Display Managerは、モニタまたはモニタグループの管理に使用されるWindowsアプリケーションです。表示されるイメージの手動調整、自動設定の割り当て、エネルギー管理、ウィンドウ整理、イメージ回転、およびDellの上位モデルのその他の機能が可能です。インストールすると、Dell display manager はコンピューターが起動するたびに実行され、そのアイコンが通知トレイに配置されます。通知トレイのアイコンにマウスのポインターを重ねると、コンピューターに接続されているモニターに関する情報が表示されます。

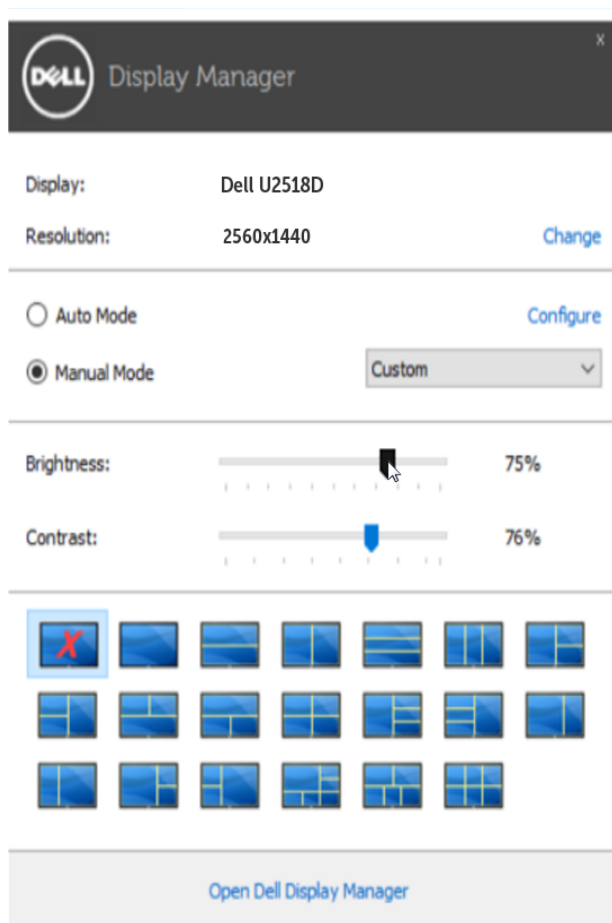


 注: Dell Display Manager は、ご利用のモニターと通信するために DDC/CI チャネルの使用を必要とします。以下のように、メニューで DDC/CI が有効になっていることを確認してください。



## クイック設定のダイアログを使う

Dell Display Manager の通知トレイ アイコンをクリックすると、クイック設定のダイアログが開きます。システムに複数のサポートされる Dell モデルが接続されている場合は、用意されたメニューを使用するとターゲットのモニタが選択されます。クイック設定のダイアログボックスでは、モニタの輝度やコントラストの調整を行ったり、プリセットモードを手作業でプリセットモードを選択したり、アクティブになっているアプリケーションに合わせてプリセットモードを自動選択することが可能です。

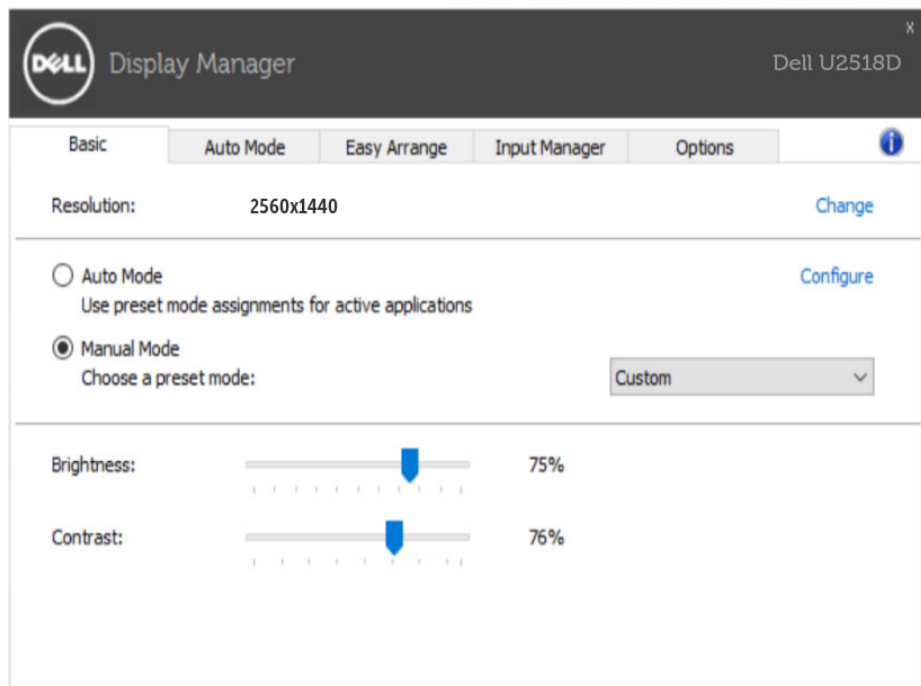


クイック設定のダイアログボックスからは、Dell Display Manager の高度なユーザーインターフェイスにもアクセスできます。ここからは、基本的な機能を調整したり、自動モードを設定したり、その他の機能にアクセスしたりすることが可能です。



## 基本的なディスプレイ機能の設定


一部のモニタのプリセットモードは、[基本] タブのメニューを使って手動で適用できます。または、自動モードを有効にする方法もあります。自動モードを選択すると、特定のアプリケーションをアクティベートすると、自動的にあらかじめ選択しておいたプリセットモードが適用されます。選択されたプリセットモードを示すメッセージが一時的に画面に表示されます。一部のモニタの輝度とコントラストも [基本] タブから直接調整できます。



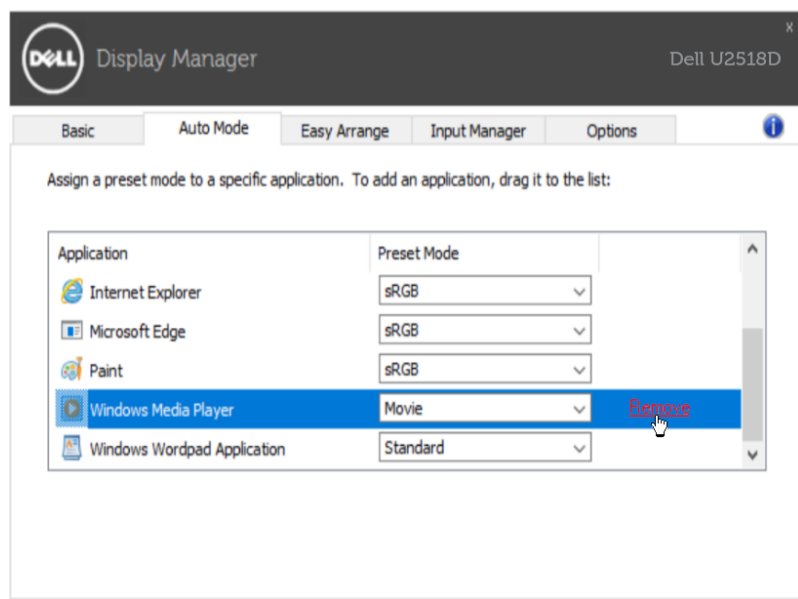
# プリセットモードをアプリケーションに割り当てる

[自動モード] タブからは、特定のプリセット モードを特定のアプリケーションに関連付けて、自動的に適用するように設定できます。自動モードを有効にすると、相当するアプリケーションがアクティベートされると、Dell Display Manager が自動的に相当するプリセット モードに切り替えます。各モニターで同じプリセットモードが特定のアプリケーションに割り当てられているかもしれませんが、プリセットモードが 1 台ずつ違うかもしれません。

Dell Display Manager は、多くの一般的なアプリケーション向けにあらかじめ構成されています。割り当てリストに新しくアプリケーションを追加するには、デスクトップ、Windows のスタート メニュー、その他の場所からアプリケーションをドラッグして、現在のリストにドロップします。

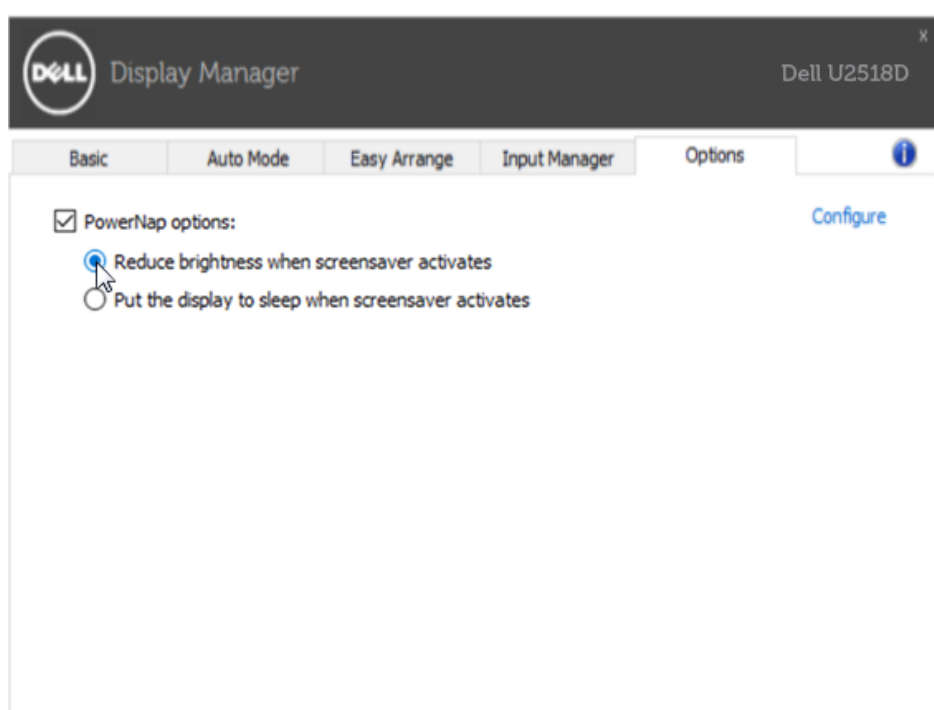
 **注記:** 一連のファイル、スクリプト、ローダー、あるいは Zip アーカイブやパケット化されたファイルなどの非実行ファイルへのプリセット モードの割り当ては、サポートされていないため、実行できません。

また、Direct3Dアプリケーションが全画面モードで実行されているときに、ゲーム用のプリセットモードを有効にするオプションが可能です。このような動作(有効に設定されているとき)を個々のゲーム タイトルに置き換えるには、異なるプリセットモードでそれら割り当てリストに追加してください割り当てリスト内にあるアプリケーションは、一般的な Direct3D 設定よりも優先します。



## 省エネ機能を適用する

サポートされるDellモデルにはオプションタブがあり、そこにPowerNap省エネルギーオプションがあります。スクリーンセーバーを有効にすると、モニタの明るさを自動的に最小レベルに設定できます。または、付加的な電力を節約するために、モニタをスリープ状態にすることができます。

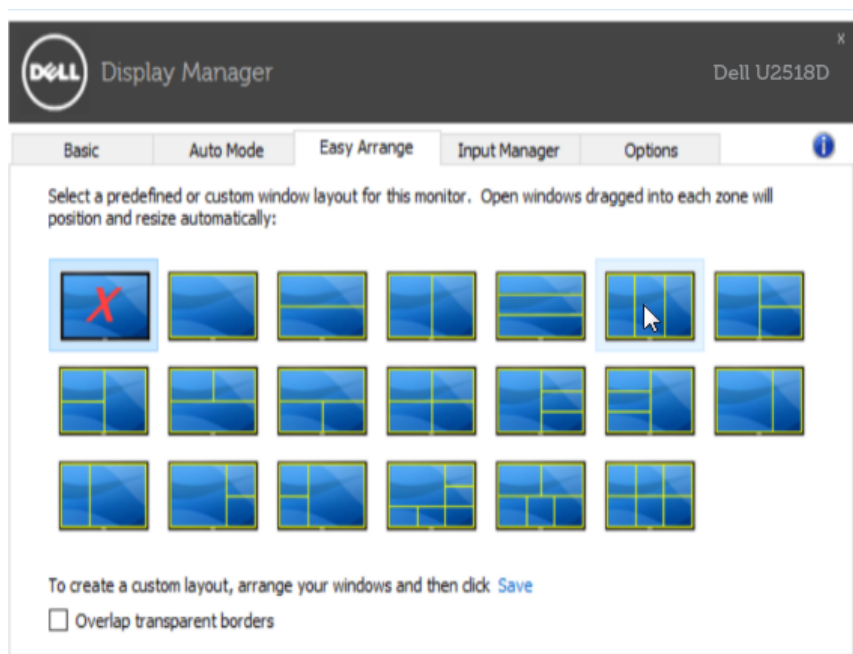




# Easy ArrangeでWindowsを整理する

一部のDellモデルはEasy Arrange機能を備えています。これがあると、選択したモニタのデスクトップを整理して、ウィンドウレイアウトをいろいろな方法で事前定義したり、カスタム化したりできます。Easy Arrange機能を有効にすると、ウィンドウレイアウト内の特定の領域を自動的に埋めるように、ウィンドウの位置やサイズを簡単に変更できます。

Easy Arrangeを始めるには、ターゲットモニタを選択し、事前定義されたレイアウトの1つを選択します。そのレイアウトの領域がモニタに一時的に表示されます。次に、開いているウィンドウをモニタの全域でドラッグします。ウィンドウがドラッグされている間、現在のウィンドウレイアウトが表示され、ウィンドウが上を通過するとアクティブな領域が強調表示されます。いつでもウィンドウをアクティブ領域に落とし、その領域にウィンドウを配置できます。

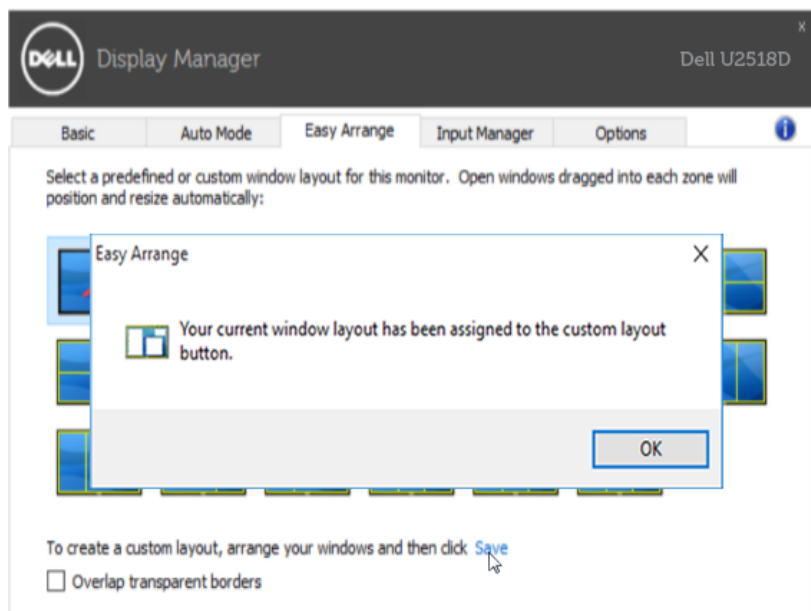


カスタムのウィンドウレイアウトを作成するには、デスクトップでウィンドウのサイズと位置を決め(最大10個)、Easy Arrangeの保存リンクをクリックします。ウィンドウのサイズと位置がカスタムレイアウトとして保存され、カスタムレイアウトアイコンが作成されます。

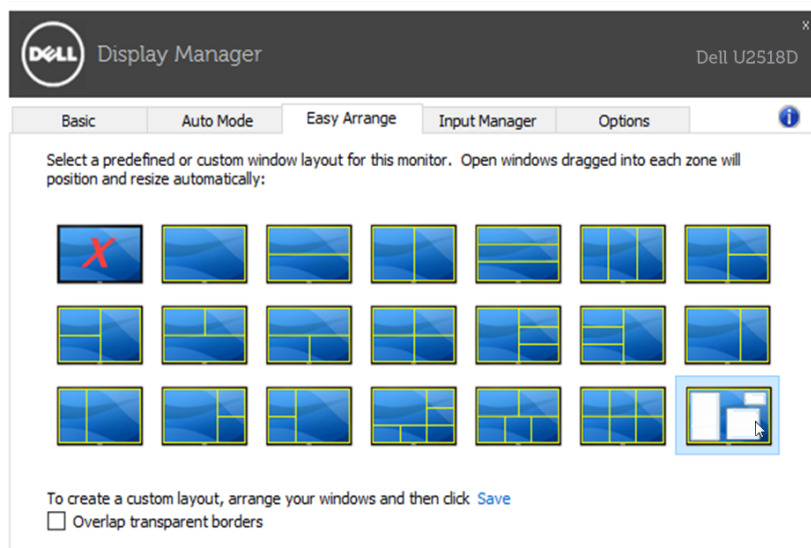


注記: このオプションでは、開いているアプリケーションが保存または記憶されることがありません。ウィンドウのサイズと位置だけが保存されます。





現在保存されているカスタムレイアウトを使用するには、カスタムレイアウトアイコンを選択します。現在保存されているカスタムレイアウトを削除するには、デスクトップ上のすべてのウィンドウを閉じて、Easy Arrangeの保存リンクをクリックします。

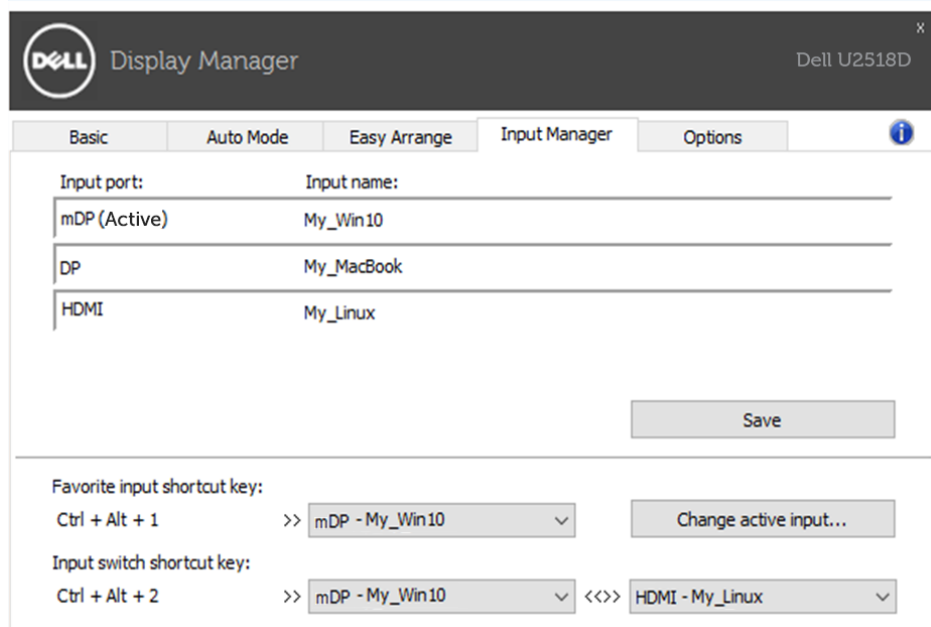


## 複数のビデオ入力进行管理

Input Manager (インプットマネージャー) タブから、お使いのデルモニタに接続された複数のビデオ入力を簡単に管理できます。複数のコンピュータで作業をしながら、とても簡単にビデオ入力を切り替えることができます。

お使いのモニタでご利用いただけるビデオ入力ポートがすべてリスト化されます。それぞれのビデオ入力に好きな名前を付けることができます。設定後は変更を保存してください。

ショートカットキーを登録してお気に入りのビデオ入力に素早く切り替えたり、頻繁に切り替えるものがあれば別のショートカットキーを登録して、ビデオ入力を素早く切り替えられるようにすることができます。



Input port:	Input name:
mDP (Active)	My_Win10
DP	My_MacBook
HDMI	My_Linux

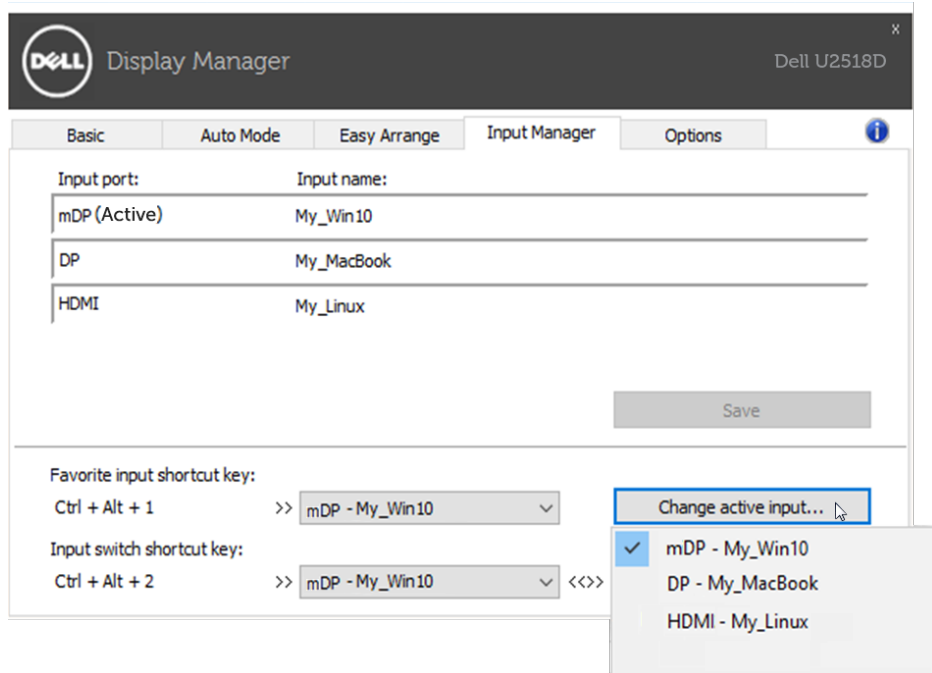
Save


Favorite input shortcut key:  
Ctrl + Alt + 1 >> mDP - My\_Win10 >> Change active input...

Input switch shortcut key:  
Ctrl + Alt + 2 >> mDP - My\_Win10 <<>> HDMI - My\_Linux >>



ドロップダウンリストを使って、別の入力ソースに切り替えることができます。

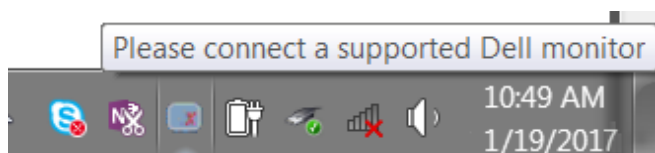


 注記: モニタが別のコンピュータ経由のビデオを表示している間、モニタはDDM通信を継続します。頻繁に使うPCにDDMをインストールして、PCから入力を切り替えることができます。モニタに接続されている別のPCに、DDMをインストールすることもできます。

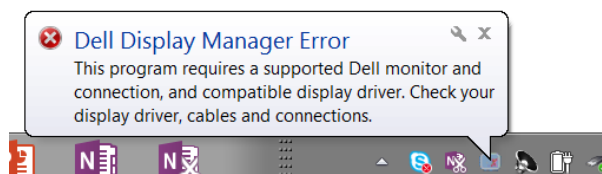


# トラブルシューティング

DDM が、ご利用のモニターと共に動作することができない場合、DDM は、通知トレイに以下のアイコンを表示します。



アイコンをクリックすると、DDM は、詳細なエラーメッセージを表示します。



DDM は、Dell ブランドのモニターと共にのみ動作することに注意してください。他のメーカーのモニターを使用されている場合、DDM は、それらをサポートしません。

DDM が、サポートされる Dell 製モニターを検出および/または通信できない場合は、トラブルシューティングを行うため、以下のアクションを行ってください：

1. ビデオケーブルが、ご利用のモニターと PC に適切に接続されていることを確認します。特にコネクターが、しっかりと所定の位置に挿入されていることを確認してください。
2. モニターの OSD をチェックし、DDC/CI が有効になっていることを確認します。
3. 必ず、グラフィックスベンダー (Intel、AMD、NVidia など) から、正しい最新のディスプレイドライバーを取得してください。多くの場合、ディスプレイドライバーが、DDM 故障の原因となります。
4. モニターとグラフィックスポートの間のドッキングステーション、ケーブルエクステンダーまたはコンバーターを取り外します。一部の低価格のエクステンダー、ハブまたはコンバーターは、DDC/CI を適切にサポートしておらず、DDM の障害を引き起こす可能性があります。最新バージョンが利用可能である場合、このようなデバイスのドライバーを更新してください。
5. ご利用のシステムを再起動します。



DDM は、以下のモニターでは動作しない可能性があります：

- 2013 年以前の Dell 製モニターおよび D シリーズの Dell 製モニター。更なる情報については、Dell 製品サポートウェブサイトを参照してください
- Nvidia ベースの G-sync 技術を使用するゲーム用モニター
- 仮想ディスプレイおよびワイヤレスディスプレイは、DDC/CI をサポートしません
- DP 1.2 モニターの一部の初期モデルは、モニターの OSD を使って、MST/DP 1.2 を無効化することは必要となる場合があります

ご利用の PC がインターネットに接続されている場合、DDM アプリケーションの最新バージョンが利用可能になった場合、その旨を示すメッセージがプロンプト表示されます。最新の DDM アプリケーションをダウンロードし、インストールすることを推奨します。

また、「SHIFT」キーを押しながら、DDM アイコンを右クリックすることにより、新しいバージョンを確認することができます。

